

日邦産業株式会社

(証券コード: 9913)

2019年3月期 決算説明会

2019年 5月31日 代表取締役社長 岩佐恭知



	NIPPO
I 会社概要	P2~P6
Ⅱ 2019年3月期 決算及び翌期の業績予想	P7~P12
Ⅲ 長期ビジョン	P13~P16
Ⅳ 参考資料	P17~P22
Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.	1





I 会社概要

Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

-

会社概要



2019年3月31日現在

商	号	日邦産業株式会社 (英字名:NIPPOLTD.)			
本	社	愛知県名古屋市中区錦一丁目10番1号			
設	立	1952年 3月 6日			
資 本	金	31億3,775万4千円			
代表	者	代表取締役社長 岩佐 恭知			
従 業 員	数	(連結) 3,734名 (単体) 314名			

国内外ネットワーク



富優技研(上海)

上海支店

グローバル化を進めるお客様のビジネスパートナー

- ■日邦産業グループ生産拠点 ◆富優技研グループ生産拠点 東北営業所 本社·名古屋支店 埼玉事業所 東京支店 北陸営業所 関西支店 日邦メタルテック株式会社 横浜営業所 九州営業所 稲沢事業所 日邦メカトロニクス株式会社 本社·事業所 日邦メカトロニクス広島株式会社 日邦メタルテック株式会社

富優技研(金研·東莞) 富優技研(台湾) 富優科技(北海) 深圳支店 香港支店 コラート工場 ベトナム工場 フィリピン工場 国際地域統括本部: バンコク工場 メキシコ工場 マレーシア工場 ジャカルタ工場

富優技研(蘇州·安徽)

深圳工場

● 営業拠点8ヵ所、生産拠点5ヵ所

- アセアン・中華圏・メキシコに 営業拠点6ヵ所、生産拠点8ヵ所
- 中華圏(富優技研:業務提携先含む)に 生産拠点7ヵ所

Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

当社の理念体系



経営理念

新しい価値の創造を通じて、会社の繁栄と社員の幸福増進の ・致を計り、社会の恩恵に報いることを使命とします

経営方針

三方一両得の精神に基づき、異色ある価値創造企業として、世界をリードするお客さまの ものづくりを支え続け、社員を強みの源泉とした地域に根差したグローバル企業を目指します

行動規範

~当社における活動 (行動) の軸を示したもの~

「顧客第一」「基本重視」「フェア」「チャレンジ」「スピード」「コミュニケーション」

事業セグメント



製造

商事

電子部品関連 高機能材料

高機能加工部品、治工具、機器

RFID関連製品、ICカード、ICタグ等

・薄膜プロセス材料

パッケージ材料

配線板関連材料

エレクトロニク

モビリティ



パワートレイン系機構部品 電子制御系関連部品

- ・ 樹脂成形品、インサート部品
- ・ コイル部品/組付け 車載光学関連部品







医療·精密機器

ディスポーザブル医療製品 高機能医療関連器具

プリンター関連部品 デジタルイメージング関連部品



住宅設備

住宅配管関連部品 給湯器関連部品 介護ベットコントロールユニット 燃料電池関連部材







Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.





Ⅱ 2019年3月期 決算及び翌期の業績予想

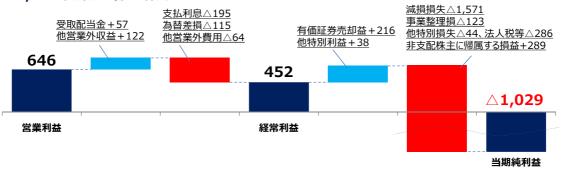
19/3期 連結業績



(単位: 百万円)

科目	18/3期	19/3期	前期比	増減額
売上高	43,791	44,479	102%	+687
営業利益	497	646	130%	+149
経常利益	496	452	91%	△43
当期純利益	598	△1,029	_	△1,628

<19/3期 要素別 利益増減>



Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

8

19/3期 セグメント別業績



	االا	
т	ヒリ	774

(前期比)

- バンコク、ベトナム、インドネシア等の海外主力工場の受注が好調に推移
- 国内稲沢工場と、メキシコ新工場への先行投資の影響が継続

エレクトロニクス

売 上 高 14,269百万円 7.7% Down ↓ セグメント利益 657百万円 16.3% Down ↓

- スマートフォン関連の需要が調整局面に入り受注が減少
- ロボット・工作機器向け配線板材料と、車載パワーデバイス関連部材の受注が堅調に推移

医療・精密機器

売 上 高 7,747百万円 3.9% Up ↑セグメント利益 369百万円 153.9% Up ↑

■ プリンター関連部品、及び医療機器関連のディスポーザブル器具の受注がともに増加したことで好調に推移

住宅設備

売 上 高 3,394百万円 7.6% Down ↓ セグメント利益 245百万円 2.9% Up ↑

- 住宅用給水ユニット関連部品の受注が減少
- 家庭用燃料電池向け金型等の受注が増加

※ セグメント利益・・・全社費用配賦前利益

19/3期 当期純利益を下方修正した要因



(単位: 百万円)

■ 下方修正した要因

モビリティに属する3つの事業(稲沢、広島、メキシコの一部)において、2期連続でセグメント損失と年度計画に対する下振れ差異を生じさせたことにより、 固定資産の減損に係る会計基準に基づいて、減損損失を計上したためです。

■ 19/3期の減損損失と20/3期の減損リスク

	19/3期の減損損失等(内訳)				
	保有動産 の簿価	減損金額	保有動産 の残高	20/3期の減損リスク認識	
稲沢事業	1,454	△1,353	101	業績の回復を見込んでいるため、減損が 生じるリスクは極めて低いと考えております	
広島事業	34	△34	0	あらたに購入した資産に減損リスクが伴い ますが、そのリスクの程度は軽微であると	
メキシコ事業	428	△183	245	考えております	

Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

10

20/3期 通期業績予想



(単位: 百万円)

(単位: 白万円)					
科目	19/3期	20/3期 通期予想	前期比	通期業績予想コメント	
売上高	44,479	45,000	101%	1. <u>売上高</u> モビリティ稲沢事業の売上高が増加	
営業利益	646	1,100	170%	2. <u>営業利益</u> 増収並びに、固定費及び減価償却負担の軽減	
経常利益	452	850	188%	3. <u>経常利益</u> メキシコ工場向け借入金利の増加	
当期純利益	△1,029	430	_	4. <u>当期純利益</u> 増益による法人税額の増加	
年間配当金	-	未定	_	※ 配当金につきましては、連結及び個別の財務状況を 勘案した上で決定して参ります	
売上高			43,791	44,479 45,000	
営業利益	286	31	497	646	
	」 17/3其	期	18/3期	19/3期 20/3期(予想)	
Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.					

中期経営計画2019(進捗状況)



連結営業利益(3カ年の累計目標値)



3億円 5.5億円 7.5億円

17年度 18年度 19年度

3円 3円+α 3円+β

<修正計画> 2018年11月30日 決算説明会

3力年 連結営業利益累計 19.5億円以上

5億円 7億円 7.5億円



17年度 18年度

3.5%以上目標

5円 5円+a

<実績及び予想値>

2019年5月14日 決算短信

3力年 連結営業利益累計 19.5億円以上

5億円 6.5億円 11億円



5.2%

4.4%

4円 無配

未定

√ 2017年度:3つの目標値を達成

3.5%以上目標

✓ 2018年度:修正計画に対して、3つの目標値が未達成

✓ 2019年度:営業利益は達成見込み。2つの赤字(広島・メキシコ)を止血し、

中期経営計画2022(収穫期)につなぐ

Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

12



ROE

配当



Ⅲ 長期ビジョン

長期ビジョン(全体像)



中期経営計画 2019 中期経営計画 2022 中期経営計画 2025

単年ではなく中期の各累計単位で持続的な成長を計る

フェーズ

事業の選択と捨象、 リバランスを行い 足元を固める期間

財務基盤を安定させつつ、 新たなビジネスモデルの 構築に、挑戦する期間 新たなビジネスモデルを もって、**業界内における 存在感を向上させる期間**

先行投資・種まき

収穫

新たな武器・ビジネスモデルの確立

姿

全事業・全拠点が 収益貢献している (赤字事業・拠点が なくなっている) 先行投資した事業が 収益に大きく貢献している

- ・NIFコイル事業
- ・FNAレンズ事業
- •医療機器事業

持続的成長を牽引する 収益性の高い事業が 各領域で確立されている

Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

14

長期ビジョン(事業の方向性)



モノづくりの高い技術を武器に、 取引先から求められる事業に (下請からの脱却) 有カパートナー企業とのアライアンス を武器に、当社が介在しなければ 成立しない事業に

(窓口代理店商社からの脱却)

医療機器部品のOEMメーカーとして、業界から高い評価を受けている事業に



- 1. 成形品をコアにした、自動車重要保安部品の量産技術を確立する
- 2. ディスポーザブル製品を中心に精密医療機器の受託生産を拡大する
- 3. 電子部品を主軸に様々な事業領域で次世代商材を探索提供する



Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

15

長期ビジョン(経営指標) 連結営業利益(3力年累計値) 本期間内に、過去最高益を上回る 営業利益:15億円/年と ROE: 7%以上を計画 中期経営 中期経営 中期経営計画 計画 計画 2019 2025 2022 19.5億円以上 資本コスト<ROEを重視した経営に 7%以上目標 ROE 3.5%目標 中期経営計画 2022 DEレシオ 0.6倍程度 の基本戦略と 各年度目標は 2020年5月に 配当 持続的な成長に 配当性向25% 発表いたします 合せた増配 の実現を目標

Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

IV 参考資料

19/3期 連結貸借対照表



(単位: 百万円)

	科目		18/3期	19/3期	増減額
	流動	動資産	15,471	15,365	△106
		現預金	4,666	4,943	+277
		受取手形及び 売掛金	7,744	7,460	△283
		たな卸資産	2,486	2,379	△106
資産の		その他	574	581	+7
の部	固定	主 定 資産	14,380	13,922	△457
		有形固定資産	11,125	11,011	△114
		無形固定資産	99	115	+16
		投資その他の資産	3,155	2,795	△359
			29,851	29,288	△563

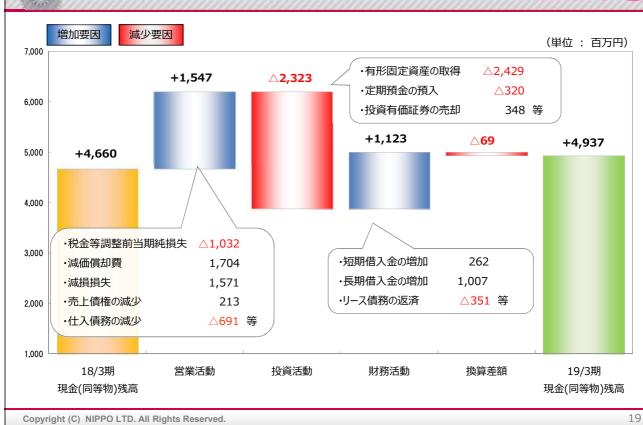
				(-	-i立 · ロ/기 i/
	科目		18/3期	19/3期	増減額
	流重	負債	12,389	12,248	△141
		支払手形及び 買掛金	8,067	7,318	△748
占		短期借入金等	2,339	2,698	+358
負債の		その他	1,981	2,230	+248
の部	武固	三負債	6,000	7,437	+1,437
		長期借入金	3,610	4,588	+978
		その他	2,390	2,849	+458
	負債	合計	18,389	19,685	+1,295
	資本	金	3,137	3,137	-
純資産	資本剰余金、利益剰 余金及び自己株式		6,546	5,493	△1,052
屋の部	その他の包括利益 累計額		1,251	743	△508
=P	非支配株主持分		526	228	△298
	純資産合計		11,462	9,602	△1,859
	負債	責·純資産合計	29,851	29,288	△563

Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

18

19/3期 連結キャッシュ・フロー計算書





19/3期 個別業績(日邦産業)



(単位: 百万円)

科目	18/3期	19/3期	前期比	増減額
売上高	25,420	25,738	101%	+317
営業利益	△76	△124	_	△47
経常利益	140	756	539%	+616
当期純利益	510	△818	-	△1,329

科目		科目 18/3期		増減額
資産の部	流動資産	8,306	8,239	△67
の部	固定資産	9,913	10,175	262
資産合計		18,219	18,414	194

	科目	18/3期	19/3期	増減額
負	流動負債	9,254	9,199	△54
債の	固定負債	3,718	5,052	1,334
部	負債合計	12,972	14,252	1,279
	資本金	3,137	3,137	1
é.ti	資本剰余金	1,363	1,363	
純資産の	利益剰余金	510	△344	△855
座の部	自己株式	△53	△39	13
יום	評価·換算差額等	288	45	△242
	純資産合計	5,247	4,162	△1,084
	負債·純資産合計	18,219	18,414	194

Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.

20

ESGの取組み



項目	課題	19/3期に取り組んだこと
	明文化された取締役(監査等委員を含む。 以下、同じ。)の選任基準がない	取締役の選任基準を明文化し、これをHPを通じて 公表した
コーポレートガバナンス	社外取締役の独立性基準を公表していな い	社外取締役の独立性の基準を明文化し、これを HPを通じて公表した
	取締役の指名・報酬の決定にあたり、独立 社外取締役の適切な関与・助言を得る しくみがない	取締役の指名・報酬の決定にあたり、独立社外取締役の適切な関与・助言を得るしくみをつくり、これをHPを通じて公表した
	取締役会の実効性を評価していない	アンケートによって取締役会の実効性を評価することを決定し、これをHPを通じて公表した
		国内主要拠点はその選定を完了した。なお、他拠点における選定は、20/3期に完了する計画である

- ・「企業理念、行動規範」「コーポレートガバナンス」「倫理・コンプライアンス」「緊急事態対応」「情報管理」「社会との融合」を 切り口とした外部評価を受け、課題と認識した事項に対する取り組み結果となります。
- ・なお、「最高経営責任者(CEO)等の後継者計画(育成計画を含む)」が残置課題となっており、取締役会で決定する テーマとして取り組むこととしています。





年月	項目	
1952.03.	東邦カーボン製造所の販売部門を母体として日邦産業株式会社を設立する	
1968.07.	愛知県一宮市に樹脂成形工場を開設する	
1987.11.	台湾(台北)に支店を開設・タイ(バンコク・ミンブリ)に生産子会社を設立する	
1991.11.	店頭登録銘柄(現 東京証券取引所 ジャスダック市場)として、日本証券業協会に登録される	
1993.02.	マレーシア(ネグリセンビラン)に生産子会社を設立する	
1995.06.	タイ(コラート)に生産子会社を設立する	
1996.02.	香港に営業子会社を設立する	
2002.01.	中国(深圳)に新工場を設立する	
2002.10.	ベトナム(ハノイ)に生産子会社を設立する	
2003.11.	上海に営業子会社を設立する	
2004.12.	株式会社ジャスダック証券取引所(現 東京証券取引所 ジャスダック市場)に株式を上場する	
2006.03.	愛知県稲沢市に樹脂成形工場を建設する	
2010.09.	富優技研股份有限公司と資本・業務提携する	
2011.03.	大阪証券取引所ジャスダック市場(現 東京証券取引所 ジャスダック市場)の貸借銘柄に指定される	
2011.12.	富優技研股份有限公司を持分法適用会社とする	
2012.06.	インドネシア(ブカシ)に生産子会社を設立する	
2013.01.	埼玉県羽生市に営業・生産拠点として、埼玉事業所を開設する	
2014.01.	アジアにおける中枢拠点として、タイ(チェチェンサオ)に自動車部品工場を建設(ミンブリ閉鎖)する	
2014.03.	富優技研股份有限公司を持分法適用会社から除外する	
2014.04.	メキシコ(サン・ルイス・ポトシ)に生産子会社を設立する	
2016.01.	プラスチック成形品の製造・販売を推進するため、広島市に日邦メカトロニクス広島株式会社を設立する	
2016.06.	取締役会の監督機能とコーポレートガバナンスを強化するため、監査等委員会設置会社に移行する	
2018.07.	愛知県名古屋市に本社を移転するとともに名古屋支店を開設する	
Copyright (C) NIPPO LTD. All Rights Reserved.		22

お問い合わせ先



日邦産業株式会社 コーポレート本部 竹中 啓倫

電話 : 052-218-3161 E-Mail : ir@nip.co.jp

HPアドレス : http://www.nip.co.jp/

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1米ドル=113円、1タイバーツ=3.3円で計算しています。